

規格外トマトがどれくらい発生し、廃棄されているか調べよう

期間目安	2～3日	費用目安	低
研究タイプ	調査	対象学年	中学生（1人～グループOK）

1. この研究のねらい

スーパーや直売所、または自分の栽培記録から、形が悪い・小さすぎるなどの規格外トマトがどれくらい発生するかを調べます。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- 一定の割合で規格外が発生するのではないかな

 **ポイント：**予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- 収穫記録（自分の栽培分があれば）
- お店への聞き取りやウェブ調査
- ノート

4. 進め方（2～3日プラン）

1日目	調査計画を立て、情報収集を始める
2～3日目	追加調査を行い、結果をまとめる

5. 記録シートの例

収穫日	正規品の数	規格外の数	規格外の理由

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- お店に聞く場合は事前に許可を得る
- 丁寧な言葉遣いを心がける

7. まとめ方・考察のポイント

- 規格外品の発生理由と活用方法について考察する

8. レポートの構成例

- 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：記録表、写真、グラフなど
- 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
- まとめ・感想：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと
- 参考にした資料：本やウェブサイトなど（あれば）